

# 長崎史談会 27年秋の研修旅行記(2)

幹事 吉野誠次

[2日目](平成27年9月3日木曜日)



出雲大社 神楽殿の注連



石見銀山の代官所役人の家

朝一番で訪れたのは出雲大社で、60年ぶりの大改修中であったが、宮川名誉会長殿の特別の取計らいにより、大社最古参の藤井雄四郎禰宜ほか2人の神官と1人の巫女によって、広々とした拝殿で正式な参拝を受けた。

その後、藤井禰宜殿の案内で一般の人は入れない、改修の終わった本殿の内陣に入り、親切丁寧な解説を拝聴した。なお、出雲大社は他の神社と違い「二礼・四拍・一礼」であった。

次に向かったのは石見銀山である。島根県太田市大森町に所在する。銀山開発が確実となるのは天文2年(1533)のことで、大内氏、尼子氏、小笠原氏、毛利氏な

どがこの地を支配、銀山の開発に当たった。

天正11年(1583)からは豊臣秀吉の支配となるが、徳川幕府は石見国の大半を天領とし銀山を支配した。石見銀山は、多い時には年間3600貫目にも達したという。昼食は「石見そば御膳」頂き、バスで浜田自動車道・中国自動車道・広島市街・広島呉道路を經由して呉市海事歴史科学館「大和ミュージアム」を見学する。1/10模型の大和もさることながら、ゼロ戦の実物等展示されていて充実した科学館であった。大和は同型の1番艦で、呉海軍工廠で建造され、基準排水量64,000トンの当時、世界最大の戦艦で昭和16年(1941)12月に竣工した。2番艦武蔵

(三菱長崎造船所、昭和17年8月竣工)。3番艦信濃は航空母艦に変更(呉海軍工廠(62,000トン)。4番艦は起工後、建造中止となった。



大和(最長の砲弾)他軍艦の主砲砲弾の前で IMG\_1202